

第6支部40周年記念事業
天保山まちづくり活動第1弾

『天保山エリアの都市の成り立ち・建造物の歴史』講演会報告

- 開催日時 平成28年4月29日(13:00～15:20)
- 会場 大阪歴史博物館
- 参加者 修成建設専門学校 先生1名 学生21名
大阪市立工芸高等学校 先生1名 生徒3名
会員 17名
- 講師 大阪歴史博物館 八木 滋 主任学芸員
酒井 一光 主任学芸員
- スタッフ 6名(港町おこし部会:山口、立田、瀬戸、板東、富士本、小鮒)
- 報告

講演内容 「天保山の成り立ち」八木 滋 主任学芸員
「築港の歴史的建造物」酒井 一光 主任学芸員

平成28年度の天保山まちづくり活動の一環として、修成建設専門学校と共同で築港の地域資源の掘り起しから資源の活用に向けたまちづくりの提案に取り組んでいます。

まず、第一回目として表題の天保山エリアのまちを知るための講演会を開催しました。立田相談役の挨拶・趣旨に始まり、天保山の成り立ちでは江戸時代 貞享元年1684年から現在に至るまでの移り変わりを詳しく説明していただきました。島の活用のされ方も、島の形状も時代によって様々な変化を遂げてきた天保山は知れば知るほど興味の湧く、面白い町だと感じました。また、築港の歴史的建造物も、大正から昭和初期の間に大阪府下全域の件数の割合と比較しても圧倒的に築港内に現存している件数が多いという珍しい地域であり、建造物の現在の姿が天保山の成り立ちが大きく影響しているなど、講演いただきました。

